

折尾愛真

NEWS LETTER



2012年 2月
11号 Vol. 51

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 *Since 1935* (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科 特進コース 普通コース 健康福祉コース 保育コース インターコース 一貫コース	看護科 看護科 看護専攻科	商業科 商業コース 美容専科 コース 製菓衛生師 コース
--	----------------------------	--

健康福祉コース

介護福祉士国家試験

1月29日(日)、第24回介護福祉士国家試験が西日本総合展示場であり3年生15名が受験しました。3学期より特別授業や放課後の課外と毎日遅くまで国家試験に備えていました。結果は3月下旬に発表されます。

予餞会

2月3日(金)、卒業を控えた三年生のために感謝の気持ちを込めて予餞会がありました。在校生が歌や踊りを披露するたびに歓声が上がりました。特に、日頃から厳しい先生方が登場するとひと際大きな歓声が上がりました。



先生方のステージは盛り上がりました。



修学旅行

北志賀高原スキー場

2月6日(月)～10日(金)までの四泊五日の日程で長野県北志賀高原でのスキー実習が行われました。初日は雨で午前中の実習はできませんでしたが午後からは天気にも恵まれ、初めてのスキー実習を堪能していました。



看護科

教育講座

1月21日(土)、今年度2回目の教育講演会が行われました。講師に聖マリアンナ医科大学病院副院長・看護部長の高橋恵先生をお迎えし、「今、求められる看護職とは！」と題して講演をして頂きました。患者を支えていく上で求められる基礎力(アクション・シンキング・チームワーク)の大切さを学びました。



講演中の高橋恵先生



製菓衛生師コース

2月17日(金)、長崎県農協会館にて行われる第4回製菓衛生師国家試験の壮行会が13日(月)短期大学礼拝室で行われました。先生方の励ましの言葉に続いて、生徒代表の石橋葉さんが全力で最後まで頑張りますと力強い誓いを述べていました。



誓いの言葉を述べる石橋葉さん



製菓衛生師コース

和菓子実習 (2年生)

1月12日(木)～16日(月)の3日間、2年生の特別実習があり29名が伝統的な和菓子の実習に臨みました。特別講師として福岡市の筑前菓匠「一ひら」で従事されている森下豊信氏をお迎えしての実習は色鮮やかな梅や寒ボタンをあしらった和菓子に挑戦しました。



こしあんの周りに白あんともち粉を混ぜた「ねりきり」で紅梅の形に仕上げたもの



製パン実習 (1年生)

2月6日(月)～8日(水)の3日間、1年生の製パン実習がありました。特別講師として熊本より熊本製粉の武藤欣弥先生をお迎えし、食パン・菓子パン(メロン、アンパン、リンゴ)・フランスパン・ホテル食パン・ブリオッシュ・黒ゴマ食パン・ぶたまんと多種多様な製パン作りを実習しました。



特別講師の森下豊信氏

指導中の武藤先生

出来たての製パン



国際交流

長期留学生帰国

韓国の8校目となる姉妹校からの訪問

1月19日(木)、韓国とドイツからの長期留学生5人の送別礼拝がありました。韓国の永花女子高等学校のイム・ヘミさん、パク・ガヨンさん、永花女子イングリッシュビジ初高等学校のキン・ダインさん、ユン・ヨンギョンの4人は21日(土)、ドイツのローラ・ツンチェさんは31日(火)に帰国しました。

1月11日(水)、韓国では8校目となる姉妹校の眞景(ジンギョン)女子高等学校より短期研修生が来校しました。本部会議室にて歓迎式が行われ、生徒会を中心とした司会進行で交流会が持たれ、長期留学生が通訳を務める中、和やかな雰囲気うちに終了しました。

第62回(通算76回)卒業証書授与式

日時:平成24年3月3日(土)10時
場所:パターソンホール4F



第41回 専攻科卒業証書授与式

日時:平成24年3月6日(火)10時
場所:短期大学 礼拝室



第5回 吹奏楽部定期演奏会

日時:平成24年3月10日(土)18時開演
場所:中間ハーモニーホール

新入生入学説明会

日時:平成24年3月21日(水)13時30分
場所:パターソンホール4F

新入生保護者説明会

日時:平成24年3月22日(木)13時30分
場所:パターソンホール4F

「折尾歴史探訪」

第31回 本城城址②

平家の残党追討と、平家の荘園接収を終えて鎌倉に引揚げますが、本城滞在は一年有余ではなかったかと考えますが、確かな期間は判りません。しかし、範頼の生活の息吹が八百年の時を越えて感じられます。範頼は寿永三年(一一八四)の九月、京都を出発して山陽道を進み、ようやく長門に着いたのは文治元年(一一八五)の正月でした。壇ノ浦合戦の直前でした。戦勝に導いた、海の指揮官義経は戦後、兄頼朝の不興を買い、平泉で不慮の最後を遂げますが、範頼も同じく政子の讒言で頼朝に不信を抱かれ、伊豆の修禅寺に幽閉され、梶原景時に改められて自刃します。哀しい生涯を終えることとなります。

数年前、修善寺に旅して、範頼が幽閉された修禅寺を訪ね、お墓にお参りしました。墓前に額ずき、無念な思いで自刃した範頼に思いを致し、目頭の熱くなる思いでした。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>